

バレリーナへの道

The way to be a BALLERINA 84

サマー・バレエ・セミナー／第2弾海外で活躍するダンサー／バレエ留学体験記



インターハイスクールは「バレリーナのための高校です」

2000年に創立されたアットマーク・インターハイスクールは、米国ワシントン州私立高校の日本校（東京・品川）です。世界のどこからでも、いつでも入学して卒業できるインターナショナル通信制高校なので、バレエや芸術、スポーツや芸能など各界で活躍している行動派で国際的な生徒たちが学習しています。米国ワシントン州の教育規定に沿って単位を修得するとワシントン州本校の高校卒業資格を取得します。日本語で学習ができるので、卒業に向けた単位科目として日本の高等学校卒業程度認定資格（旧大検）を目指すこともできます。

バレエ生徒が将来の進路を決める中学・高校の時期は、「バレリーナへの道」を真剣に目指す生徒にとって貴重な時間です。多くの海外バレエスクールは、卒業後すぐにバレエ団へ入団してプロダンサーとして活躍できる教育環境を整えているので留学は絶好の機会です。

米国やカナダでは高卒資格がないとバレエ団に入団できないので、留学生はバレエスクールと並行して現地校に入学します。バレエスクールで学びながら、現地の高校生たちと一緒に英語で普通科目を勉強するには高い英語力と通学時間の余裕が必要です。また欧州諸国へのバレエ留学では、

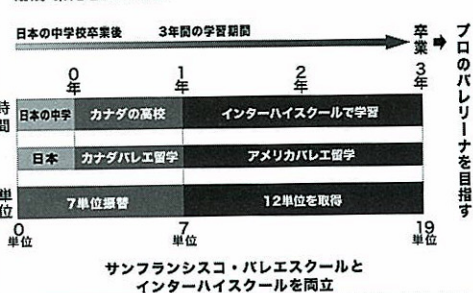
在校生の湯浅紫苑さん：サンフランシスコ・バレエスクール留学（本誌80号記事から）

3年前にカナダのバレエサマースクールに参加したのをきっかけに、翌年カナダ・アルバータのバレエスクールに留学しました。バレエの学習は充実していましたが、現地校で一般の生徒たちと一緒に英語で勉強するのは大変でした。しかし、バレエのキルゴール先生やホームステイファミリーがよくしてくれたので、カナダ留学は楽しい思い出がいくつかあります。その後、サンフランシスコ・バレエスクールのオーディションに合格したのを契機にアメリカに移住すると共にバレエに集中するため現地校からインターハイスクールに編入しました。

今、サンフランシスコ・バレエスクールに毎日通っています。カンパニーのリハーサルに参加させてもらったり、有名な振付家に会ったり、日々感動する体験をしています。留学を始めたころはバレエ



湯浅 紫苑さんの場合



SFバレエスクールの生徒と一緒に

留学先の母国語をマスターしなければ高卒資格の取得は難しいでしょう。結果、バレエに集中できず学業も中途半端な状態で帰国する留学生が少なくありません。

インターハイスクールに在籍してバレエ留学をしている生徒たちは、レッスンやコンクールなど自分のバレエ活動を高校の科目として学習しています。また生徒が自分に必要だと思う知識や教養を学校教科として取り組み、レポートなどを提出して単位を修得します。例えば、バレリーナに必要なトレーニングや栄養学、解剖学、バレエ史、etc.などを単位科目として学習することができ、生徒たちは留学先で「大好きなバレエ」に集中して高校生活を過しています。

またインターハイスクールでは進学（留学）コースを設置しているので、TOEFL、TOEIC、英検などを高校の教科として学習して、主に英語力で進学を目指すこともできます。個別指導の担任に加えて英語ティーチャーと進学カウンセラーの専門家3名で生徒をサポートします。バレエ留学生たちは、国際的な英語力を身につけて世界で活躍しています。

日本の高等学校卒業資格を取得する目的で、インターハイスクール姉妹校のアットマーク国際高校と高校の両立に悩みましたが、インターハイスクールでは自分のバレエを学校科目として学習できるので「悩みは解消」しました。今はバレエに集中できるので勉強も楽しくできます。

インターハイスクールの特徴

- ① 世界中のどこからでもいつでも入学できます。
- ② 定期テストや登校義務はありません。
- ③ バレエの学習が高校の教科です。
- ④ 担任が個別指導でサポートします。
- ⑤ 日本語でも英語でも学習できます。
- ⑥ 日本の高卒資格も目指せます。
- ⑦ 中学3年から入学できます。

等学校またはアットマーク明達館高等学校で学習する生徒もいます。アットマークグループではアメリカと日本の高校が姉妹校関係なので、バレエ留学生の計画変更や進路見直しに応じて日米両校の間での単位振替や編入手続きを経済的・時間的な負担が少なく行えます。例えば、留学中はバレエに集中するためにインターハイスクールで学習して、その後日本に帰国する際に修得した単位を振り替えて明達館高等学校に編入すれば、インターハイスクールでの学習時間と修得単位をある程度無駄なく利用することができます。

現在、多くのバレエ生徒がアメリカ、カナダ、欧州諸国のバレエスクールでバレエと高校を両立しています。卒業後に留学先のスクールからバレエ団に進んだ生徒、国際大会で入賞して欧州のバレエ団に所属した生徒、日本に帰国して国立バレエ団に入団した生徒など、留学の貴重な体験を通してバレリーナ、そして国際人として大きく成長しています。

バレエ留学生の場合、様々な理由で計画や進路の変更がされるケースが少なくありません。インターハイスクールはバレエに集中した高校生活、そして日米の卒業資格の取得と卒業後の進路について、生徒と親の「ニーズと期待」に応えることができます。

*本校は、アメリカ合衆国ワシントン州に1980年創立されたアルジャーインディペンダンハイスクールです。



湯浅 紫苑

中学の時にカナダにバレエ留学
米国サンフランシスコ・バレエ
スクールに留学中
インターハイスクールに在学中



鈴木 渚

中学の時にカナダにバレエ留学
英国ノーザン・バレエスクールに
留学中
インターハイスクールに在学中



盆子原 美奈

広島の高校に進学
米国テキサス州ヒューストン・バ
レエスクールに留学
インターハイスクール姉妹校の国
際高等学校に編入
卒業、新国立劇場バレエ団に入団



小笠原 由紀

東京の私立中学を卒業
米国NYのバレエスクールに留学
帰国インターハイスクールに編入
在学中にYAGP日本大会で優勝
卒業、ドイツのバレエ団に入団